

知恵の輪講座Ⅴ 暮らしの教室

講演 『シニアが生き生き暮らすために』

日時 令和3年1月24日（日） 10:30～12:15

会場 秋田県生涯学習センター 講堂

講師 西村 修 氏

秋田ケーブルテレビ記者

ALL-A シニア アドバイザー

当日は好天に恵まれ、募集を上回る参加者がありました。また、生涯学習センター様のご配慮により、急遽講堂を使わさせていただき3密対策を取ることが出来ました。

講演は自己紹介から始まりました。次からの記録は講話の抜粋です。



「人生は一度きりしかない」と言うのが私のキーワードです。今、私たちを脅かしているコロナウイルスは、人と人との絆を断ち切っていますが、それに負けてはいけません。デジタルというものを使えば、それに立ち向かうことが出来ると思います。

私たちの住む秋田県は高齢者率約57%の**高齢先進県**で、**世界一の先進県**と言っても過言ではありません。このことは、**シニア向けの商品が今後開発さ**

れていく可能性があり、逆にやりがいがあるという事を意味しています。

令和元年の高齢白書によると、県の高齢者（65歳以上）人口は35万人となり、昭和35年の8.6倍の数値を示しています。そして女性の総人口に占める高齢者の割合は31%です。また65～69歳の就業率は44.6%ですが、60歳代の学習したい人の割合は81.4%、これは意欲を示すデータで、実行しているかどうかは別ですが、60～70歳の手習いは今や常識となっていることも事実です。

同年の高齢白書には60歳代のインターネット利用率が73.9%を占めていると記されています。今や60代は2人に1人がスマホを使う時代になりました。インターネットを利用し、**ウィズコロナに対応**すれば、毎日が楽しくなるのではないのでしょうか。シニアのために使いやすい機器も出ています。**内に閉じこもらず、デジタルという窓を通して外部とつながってゆくことが大切だ**と思います。**IT機器が絆をつくります。**

現代はキャッシュレス時代とも言われています。キャッシュレスとは「現金以外の方法で支払うこと」を意味しており、電子マネーなどの「前払いプリペイド型」とキャッシュカードなどの「デビットカード型」それに「後払いのクレジットカード型」の三種類があります。1人1人が自分に合ったカードを作ることが大切だと思います。キャッシュレスのメリットは現金を持ち歩かなくてもよいこと、ポイントが貯まりやすいこと、スピーディーに決済が出来ることがあげられます。デメリットとしては、個人情報漏れや、新たな詐欺が広

がったりする危険性があること、認知症になった場合お金の管理が難しくなることがあげられます。

現代はエイジフレンドリーから「エイジングフレンドリー」へ変わりつつある時代とも言われています。エイジフレンドリーとは「高齢者にやさしい」という意味で、エイジングとは「熟成」「すべての世代」を意味するもので、全世代にやさしい都市を目指しているという現状を示しています。秋田市は日本で最初のエイジングフレンドリーシティとして認定されています。

最後に、私が現在関わっているALL-Aについて紹介します。これは秋田魁新報社と秋田銀行と秋田ケーブルテレビの三社が資本を出し合って作ったもので、シニアが暮らしやすい暮らしを分析し、大人（シニア）の遊びを体験してもらおうというものです。皆さんの中でご興味のある方は、是非お問い合わせの上ご参加いただきたいと思います。



この後ALL-Aについてやコロナワクチンの集団接種、その他経済問題についての個別質問があり、西村講師はその一つ一つに最後まで丁寧に答えておられました。2年ぶりに開催された「暮らしの教室」でしたが、参加者の皆さんも講師のお話を真剣に聞いておられ、終了後には「来年もやってください」という多数のご要望をいただきました。どうか今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

担当： 西村 正人
加藤 洋子

追記

秋田ケーブルテレビ様からの御協力をいただき、本講座の講演はCNA 総合にてご覧いただけます。また、スマホでインストールできる「しーなアプリ」からも令和3年3月までご覧いただけます。

